

10代にとっての「海外文学」の魅力を考える

第1部 10代がえらぶ海外文学大賞受賞作
『ソリアを森へ』を中心に、翻訳家
杉田七重氏に聞く海外文学の魅力



第2部 「海外文学への想像力」
海外文学はどのようにして「わたしたちの名作」
となるのか、そのプロセスを考えながら、
杉田七重さんの翻訳作品他、多くの作品を紹介します。
ハコブネ×ブックス主宰 きむらともお氏

2026年3月25日(水) 13:30~15:30

Zoomによるオンラインでの実施

定員 80名

参加費 無料

募集期間 2月16日から3月22日まで
(定員になりしだい締め切ります。)

申込み <https://forms.gle/wYwpY2HhTWyeP9mHA>



申込み用 QR コード

【杉田七重さんプロフィール】

英米文学翻訳家。東京学芸大学教育学部卒業。訳書にディケンズ『クリスマス・キャロル』(角川書店)、キャロル『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』(ともに西村書店)、モーパッサン『月にハミング』『フラミンゴボーイ』(ともに小学館)、など多数。昨年11月、『ソリアを森へ』(チャン・グエン文 ジート・ズーン絵 すずき出版)の翻訳で、10代がえらぶ海外文学大賞受賞!

【きむらともおさんプロフィール】

一読者。明治大学文学部文学科演劇学専攻卒業。会社員。公認内部監査人(CIA)。出版販売会社、出版社、オンライン書店など本関係の仕事を生業に、趣味でYA・児童文学紹介サイト「ハコブネ×ブックス」を主宰。日本児童文学者協会第10回、第11回長編児童文学新人賞佳作受賞。同協会第8回児童文学評論新人賞佳作受賞。



共催 日本教育大学協会学校図書館部門

東京学芸大学附属学校司書部会

後援 一般社団法人青少年読書推進機構

日本子どもの本研究会ヤングアダルト&アート・ブックス研究部会